



まいにちかいえん
~毎日開園 だれでも気軽に来られる動物園~

2013年10月号
No. 18

ずー ZOOっといっしょ

今月のニュース!

○ 恋の季節到来!?

ニホンザルは秋から冬にかけて恋の季節（発情期）に入ります。この時期には、いつもよりオスの顔とお尻の赤みが増して、尾を上げて自分をアピールします。

それに伴ってオス同士のケンカも多くなります。群れの様子を見てみると、順位が上のサルほど恋が実るわけではないようです。乙女心は複雑ですね。

シカとムフロンにも恋の季節がやってきました。シカのオスは、皮膚におおわれていた角（袋角）から、角をこすって皮膚がはがれ落ち、白くて立派な角が現れてきました。角を木などにこすりながら、自慢の角をとがらせています。ムフロンもオス同士で頭突きをしている姿がよく見られますよ。



○ オオカンガルーの赤ちゃんがお母さんの袋の外に出るようになりました

8月号でお伝えしたモナカ♀とダーウィン♀の赤ちゃん2頭はその後順調に育って、お母さんの袋から出たり入ったりするようになりました。お母さんにじゃれついたり、まだおぼつかないですが、ピョンピョンと跳ねたりもしています。天気の良い日によく外に出ていますので、かわいらしい姿を見てくださいね。



60周年イベント情報

10月はイベントがもりだくさん。時間や内容をチェックして来てね!!

キーパーズトーク

(およそ20分)

10/12	ポニー	(10:00)
	シカ	(13:30)
	カンガルー	(14:00)
10/13	鶏舎	(11:00)
	クモザル	(14:00)
10/14	キリン	(11:30)
	ライオン	(15:00)

もぐもぐガイド

(およそ10分)

10/5	ゾウ	(13:30)
10/6	カンガルー	(13:00)
10/19	ペンギン	(13:30)
10/20	ヤギ・ヒツジ	(13:00)
10/26	キリン	(14:00)
10/27	シカ	(13:30)

ふれあい教室

ヤギやモルモットなどの動物たちとふれあうことができます。

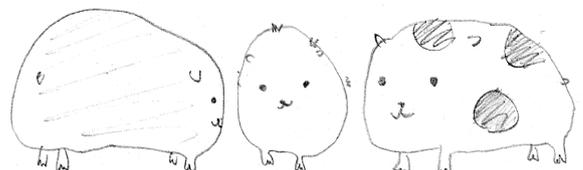
《場所》こどもどうぶつコーナー

《開催日》10/5、6、19、20、26、27日

《時間》10:30~11:15

混雑時は入場制限があります

恥ずかしがりモル、じっとしているモル、元気に動くモルなどなど
いろいろなモルモットたちにあえるかも♪



今回は3人の飼育員さんたちに、担当している動物たちについて話を聞きました♪

フクロウの首はどうなっているの？

皆さん、フクロウの首がぐるりと回っているのを見たことがありますか？どうしてこんなにフクロウが首を回せるのか知っていますか？



実は首の骨が関係しているのです！鳥類は、私たちほ乳類より首の骨の数が多くなっています。また、首の骨どうしが特殊なつくりの関節でつながっていて前後左右に自在に曲げることができます。

フクロウの場合は、首の骨が14個あり、左右にそれぞれ270度も回転できるようになっています。

それから、鳥類は眼球をあまり動かすことができません。視野というとヒトが170度あるのに対し、フクロウは110度なので、見える範囲が限られています。そのためより広い範囲を見るために首を回しているのです。

フレーメン？

秋になり、動物たちの繁殖の季節がやってきました。

今回は、この時期に多くみられる行動を紹介したいと思います。

繁殖期のメスは、子どもを作ることができる体に変化していきます。これを発情といいます。

オスは発情しているメスの臭いをより多く感じ取ろうとし、上唇をそりかえし、笑っているような表情をします。これをフレーメンといいます。アンモニアのような強い臭いを嗅いだときなどにもすることがあります。

当園でも、ポニーやヒツジ・ムフロン・シカ・キリン・ライオンなど多くの動物で見ることができます。

動物たちのユニークな顔を観察しに来てください。



なぜフラミンゴのくちばしは曲がっているの？

フラミンゴは、他の鳥には見られない『く』の字に曲がったくちばしをしています。くちばしの両ふちに細かいくし状の歯（ラメラ）がついていて、ろ過器のようにになっています。このくちばしを泥水の中に入れて左右に振り、底をさらうように口を水の中へ出し入れし、水底ちかくや水中にいるプランクトン類、小さな貝類、甲殻類を食べます。子どものときのくちばしは『く』の字に曲がっていません。曲がっていると、親から口移しで食べ物をもらうことができなくなるからです。

今年は、8～9月にかけて6羽のヒナが生まれました。今でしか見られない子どものくちばしと親のくちばしの違いをぜひ見比べてみてください！！

